

# 市議団ニュース

連絡先

2018年5月27日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

## 正副議長選挙の結果

**議長 上條哲弘**（あきひろ）

（投票結果）

上條哲弘 19票

杉野 修 4票

猪股和雄 4票

**副議長 園部茂雄**

（投票結果）

園部茂雄 19票

渡辺昌代 4票

川辺美信 4票



決意を新たにする4名の議員団

4月22日執行で市議会議員選挙が行われ、5月15日には選挙後、初議会が開催されました。臨時会では、正副議長を始め、各委員会、また一部事務組合の議員の選挙や、専決議案の審議などが行われました。党議員団は、今後、選挙で発表した公約や、市民から寄せられた要求の実現に向けて全力を尽くす決意です。

市議団、公約・市民要求の実現に全力を尽くします

## 議案第42号「専決処分の承認」

### 2018年4月より国民健康保険税条例の改正で軽減対象者が拡大に

5月15日に開かれた臨時議会で、専決処分の承認を求める議案として、国民健康保険税条例の一部の改正議案が可決しました。国保には低所得者への法定軽減制度として、均等割額に7割、5割、2割を軽減する制度ありますが、今回の地方税法の改正に伴う、国保税の一部改正では、5割、2割を軽減される対象者が拡大されます。

平成29年度の国保税5割軽減人数は5740人でしたが、平成30年度は124人増えて5864人が該当になります。2割軽減人数は5890人から73人増えて5963人になります。影響額は315万円であることもわかりました。

国保税は高く払いきれない実態だけに少しでも軽減対象が増えることは嬉しい限りです。国においては、更に7割軽減や子どもの均等割の軽減が議論されることを望むところです。

日本共産党市議団は、国保税の減額と軽減の拡大にこれからも取り組んでいきます。

## 各委員会の新役職について（敬称略）

- ◆総務財政市民常任委員会（党議員団 渡辺昌代）  
委員長・春山千明 副委員長・成田ルミ子
  - ◆福祉健康常任委員会（同 杉野 修）  
委員長・平沢健一郎 副委員長・斉藤広子
  - ◆建設上下水道委員会（同 石田利春）  
委員長・丹野郁夫 副委員長・盛永圭子
  - ◆教育環境常任委員会（同 平間益美）  
委員長・新井 兼 副委員長・貴志信智
  - ◆議会運営委員会（同 渡辺昌代）  
委員長・井上忠昭 副委員長・斉藤広子
- 【党議員団の所属する一部事務組合等の公職名】
- ◆久喜宮代衛生組合議会 渡辺昌代
  - ◆広域利根斎場組合議会 平間益美
  - ◆利根川栗橋流域水防事務組合議会 石田利春
  - ◇久喜市社会福祉協議会評議員 杉野 修
  - ◇図書委員会委員 石田利春
  - ◇議員倶楽部役員 渡辺昌代
  - ◇広報委員会委員（議会だより編集） 平間益美

## 議員定数変更に伴う定数減

議員定数が30名から27名になったことに伴い、代表者会議の定数は8名から7名に、議会運営委員会の定数は9名から8名になりました。代表者会議は全員一致で決議され、議会運営委員会は多数決で決議されます。

会派	人数	氏名（◎代表 ○副代表）
日本共産党久喜市議団	4	◎杉野 ○渡辺 石田 平間
新政久喜	14	◎柿沼 ○春山 新井 井上 上條 川内 貴志 鈴木 園部 並木 成田 平沢 宮崎 盛永
公明党	5	◎岡崎 ○斉藤 大橋 丹野 長谷川
市民の政治を進める会	3	◎猪股 ○川辺 田中
無会派	1	田村

新しい会派構成が決まりました。「新政久喜」は14名で過半数を占めることになりました。

# 学校給食センター建設方針見直しを



梅田市長は、就任あいさつで「子どもたちの未来が輝く久喜市を創ること」を掲げており期待したいと思えます。

梅田市長は、就任あいさつで「子どもたちの未来が輝く久喜市を創ること」を掲げており期待したいと思えます。

梅田市長は、就任あいさつで「子どもたちの未来が輝く久喜市を創ること」を掲げており期待したいと思えます。

日本共産党久喜市議団と  
市民の政治を進める会が共同で

久喜市長 梅田修一様

2018年5月25日

## 新学校給食センター建設方針の見直しに係る緊急提言

田中前市長は昨年、突然、東京理科大跡地に学校給食センターを建設する方針を打ち出し、市内小中学校 34 校すべての学校給食を単一の巨大センターで調理する計画を強引に推し進めました。

この間、平成 29 年度事業として新学校給食センターの設計委託、30 年度当初予算には 9 億 3599 万 2 千円の建設工事費、30、31 年度の 2 年間で 35 億 6968 万円の給食センター整備事業に係る債務負担行為を設定するなど、学校給食センターの既成事実化を進めてきました。

この巨大学校給食センターの建設計画そのものが、子どもたちを第 1 に考えた学校給食とはほど遠いものです。

その意味で、梅田市長が市長選挙を通じて一貫して主張してこられた、「菖蒲給食センターは開設されてからまだ 10 年あまりですし、栗橋では根強い自校式給食を継続する要望があります。経済効率だけを追求した給食センターの新設は立ち止まるべき」は、市民の意思を反映した、まさに正論と言うべきです。

一方で、特に鷲宮給食センターの老朽化は著しく、安心、安全かつ安定的な学校給食の提供を継続していくために、施設の更新等、早急な対応が求められているのも事実です。

そこで、当面する久喜市の学校給食政策の推進について、以下の緊急提言を行います。梅田市長のリーダーシップで方針転換を図るよう、求めます。

### 記

1. 田中前市長が決定した新学校給食センターの建設方針の見直しを公式に宣言し、新センターの設計および建設計画を凍結すること。
2. 鷲宮地区の小中学校 8 校、栗橋地区の中学校 2 校および栗橋南小学校に、2～4 年計画で順次、自校調理場を建設すること。その際、近接校や近隣の小規模校の給食を共同で調理する親子方式の活用も視野に入れること。その後、栗橋小学校および栗橋西小学校の自校調理場の改修計画を策定すること。
3. 久喜地区の全農食品学校給食センターに全面委託している学校給食のあり方、自校調理方式への転換、近隣校を組み合わせでの親子方式の活用について、改めて学校給食審議会に諮問して、一から真摯に検討を行い、数年以内に結論を得ること。
4. 菖蒲地区の学校給食のあり方、菖蒲学校給食センターの維持管理と更新の計画については、今後、10 年以内に結論を得るよう、検討を進めること。

6月8日には新市長、初めての所信表明演説があり 20 日には代表質問が予定されています。

### 6月議会日程 是非傍聴にいらして下さい



5月25日(金)	代表者会議	6月26日(火)	一般質問
6月1日(金)	議会運営委員会	6月28日(木)	本会議・議案質疑
6月8日(金)	本会議・議案の上程等	6月29日(金)	総務財政市民常任委員会
6月20日(水)	代表質問	7月2日(月)	福祉健康常任委員会
6月21日(木)	一般質問	7月3日(火)	建設上下水道常任委員会
6月22日(金)	一般質問	7月4日(水)	教育環境常任委員会
6月25日(月)	一般質問	7月10日(火)	本会議・討論・採決